

第 1 2 回 泉区和泉町住居表示検討委員会議事要旨

| | |
|---------|--|
| 日 時 | 平成 2 4 年 6 月 1 1 日 (月) 1 0 時 ~ 1 1 時 1 0 分 |
| 開 催 場 所 | 泉区役所 3 階 会議室 |
| 出 席 委 員 | <p>検討委員：日並会長、佐藤副会長、菊川副会長、新井委員、笠井委員、渡辺委員、本橋委員、中村委員、藤井委員、坂崎委員、小林委員、山村委員、志田委員代理、鎌田委員代理、上原委員代理</p> <p>事務局：高倉区政支援部担当部長、緑川窓口サービス課長、中込住居表示係長、野村金子区政推進課長、高向企画調整係長、齋島</p> |
| 欠 席 委 員 | 望月委員、小網委員、川島委員 |
| 開 催 形 態 | 公開（傍聴人なし） |
| 議 題 | <p>1 議題</p> <p>(1) 第二次地区の町名アンケートについて</p> <p>(2) 今後の検討スケジュールについて</p> <p>(3) 次回検討委員会までの周知内容について</p> <p>(4) 次回検討委員会について</p> |
| 決 定 事 項 | 第二次地区の町名アンケートに載せる町名候補は、一つ目に「南和泉」、二つ目に「和泉が丘」とする。 |

| 議 題 |
|---|
| <p>1 議題</p> <p>(1) 第二次地区の町名アンケートについて</p> <p style="padding-left: 2em;">資料 1 - 1 「第二次地区の町名アンケートについて」に沿って説明</p> <p>【事務局】 前回検討委員会で、アンケートの実施方式を決定しました。アンケートに載せる町名候補に、「泉が丘」、「泉の里」、「大丸」の3つが挙がりましたので、各地域に持ち帰り、その際の御意見を基に本日町名候補を決定することとなっています。前回検討委員会後、事務局もこの3つの町名候補について検討しました。このうち、「大丸」について事務局の見解を御説明します。前回検討委員会内でも御案内したとおり、横浜市には都筑区に「大丸」という町があります。市が異なれば同一町名であっても区別がつきますが、他の自治体では市内に同一町名が複数存在したために、郵便物等に影響した事例があります。また、他の市町村の方は、横浜市に行政区があることを御存知ない方もいらっしゃると思いますので、インターネットやカーナビ等で「横浜市大丸」で検索すると、上手く検索できないか、本来の目的地でない方が検索されてしまう可能性が考えられます。やはり、住所を分かりやすくするために住居表示を実施しますので、そのような混乱の可能性があるのであれば、同一町名は避けることが望ましいと考えます。このため、「大丸」の町名候補への採用は控えることを御了承いただきたいと思います。こ</p> |

のことに關しては、資料1-2のアンケートチラシ内の、各町名候補の下にある「【町名について】」で説明を加えています。ただ、アンケートの回答や直接各地域または事務局に「大丸」に対する御意見が寄せられた場合は、次回検討委員会で報告し、11月の「案の地元説明会」でもお示しし、御説明したいと思っています。

【会長】 それでは、町名候補については、ここでまっさらな状態に戻して、再度各地域からの御意見を基に検討したいと思います。第一次地区の経験から、町名候補が多いと結果の読み方が難しくなりますので、候補は2つか3つまでに絞った方がいいと思います。それでは、各地域の御意見を伺います。

【委員】 下和泉地区です。連合内での検討で、15個の町名案が挙がりましたが、その中から4つまでに絞り込みを行いました。最も多かった意見が「中和泉」、次いで「南和泉」、「泉が丘」、「和泉が丘」です。

【委員】 前回検討委員会では、私は「泉が丘」を推薦しましたが、その後の連合内での検討では、「中和泉」、「南和泉」を推薦しました。私は、第二次地区の町名は、今後の第三次・第四次地区の町名と統一性を持たせた方がいいと思います。各地区がそれぞれ別の町名をつけると、この地域全体を見た時に、結果的に外からの人には探しにくいのではないかと懸念しています。中田地区は、「中田」という名称に立場駅から見た東西南北で表しているのので、町のおおよその位置が分かりやすくなっています。これに倣って町名をつけたらどうかと思います。

【会長】 富士見が丘地区はどうですか。

【委員】 富士見が丘地区は、陣屋自治会が第二次地区の対象ですが、陣屋自治会から「泉が丘」がいいという意見がありましたので、連合としても「泉が丘」を推薦します。

【会長】 和泉中央地区からも、「中和泉」や「南和泉」という町名案が挙がりましたが、やはり泉が丘中学校があるので、「泉が丘」が地域に馴染みがあるということでした。和泉北部地区はいかがですか。

【委員】 前回検討委員会で申し上げたとおり、一つの名称に方位を付けるなどして長後街道南部の地域を統一性を持たせて表すという方法もあるかと思いますが、第二次地区で広く馴染みのある「泉が丘」でよろしいかと思います。

【会長】 分かりました。表記をどうするかはありますが、「いずみがおか」という御意見は大きいですね。また、和泉町の「和泉」に馴染みがあるので、第二次地区の新町名にも用いた方がいいのではという御意見がございました。自由に御意見をいただきたいと思っています。

【委員】 下和泉地区での検討について補足ですが、我々の連合内には、実施区域外もしくは実施区域であってもエリアが分かれるなど、分断される町内会があります。そこで、第二次地区の町名にも「和泉」を残すことで、分断というイメージの緩和が図れるのではないかという意見がありました。また、最も多かった町名案に「中和泉」がありますが、これは第一次地区の新町名「下和泉」から関連して挙げた案です。ただ、「中和泉」は和泉町内で第二次地区とは別の地域で呼ばれている名称です。町名ではないにしろ、先ほど事務局から説明のあった「大丸」の採用を控える理由と同様に、すでに他の

地域で呼ばれている名称を第二次地区に付けた場合、混乱が生じる恐れがありますし、「中和泉」と呼ばれる地域にお住まいの方の気持ちも気になりますので、議論が必要な町名案だと考えます。

【会長】ありがとうございます。恐らく、第三次・第四次地区の新町名には「いずみちゅうおう」という名称が案として挙がってくるのではないかと予想していますが。

【委員】アンケート実施後に、「中和泉」という意見がありました」でいいのか、「大丸」と同様に、事前に「中和泉」は採用を控える」とした方がいいのか。アンケートの結果、「中和泉」という意見が多かった時に、採用はできないと知らされた場合、抵抗があるのではないかと心配です。

【会長】和泉中央地区からどなたか意見はありますか。

【委員】先ほどあったように、中田地区の例に倣って、和泉町全体のバランスを見て町名を付けた方がいいと思います。第一次地区の検討で新町名を「下和泉」と決定した際に、当然バランス良く今後の地区の町名をつけていくのだと思っていました。ですから、前回検討委員会で「泉が丘」が町名候補に挙げた時は、違和感がありました。しかし、第二次地区内にお住まいの方たちが、それが一番妥当であるということならばと、納得しようと思ってました。ですが、やはり我々は「和泉」に対して非常にこだわりがありますから、今後の地区の町名には何らかの形で「和泉」が入るのがいいのではないかと考えています。

【委員】私は、下和泉地区の検討で「中和泉」が多かったことに驚きました。私は赤坂町内会とあって、和泉川沿いの、地下鉄の下飯田駅から下りてきたところの地域です。我々は、「中和泉」は下飯田駅の北側に広がる地域をそう呼んでいて、泉が丘中学校周辺の地域は「下和泉」と呼ぶので、第二次地区が「中和泉」という町名になることには違和感があります。仮に町名になった場合、「中和泉」と呼ばれる地域がかなり広範囲となりますし、町名を指すのか通称名を指すのかで混乱すると思います。また、「いずみがおか」の表記についてですが、我々が普段一番目にしているのは中学校などの施設名にある「泉」一文字ですし、簡明なので、「泉が丘」がいいと思います。

【会長】確かに「中和泉」は第二次地区と離れた地域に、「中和泉」が付く町内会があったり、神社等施設もありますから、町名にするには違和感がありますね。昔から「中和泉」という名称に馴染みのある地域が他にありますから、町名にすると問題が起きるのではないかとということですが、いかがでしょうか。町名候補は控えさせていただいてよろしいでしょうか。「南和泉」や「いずみがおか」は、今回新しく付ける名称なのでよろしいかと思えます。今「いずみがおか」の「いずみ」の表記について、御意見が出ています。和泉町全体のバランスを考えて「和泉」とした方がいいという御意見に対し、泉が丘中学校等で「泉」に馴染みがあるという御意見です。

【事務局】馴染みというのを、どのように考えるかだと思います。和泉町の「和泉」に対する馴染みをとるか、中学校等施設名にある「泉」に対する馴染みをとるか。

【会長】どちらにも馴染みがありますからね。

【委員】「和泉」か「泉」かですが、町がいくつかに分かれる町内会からしますと、「和

泉」を用いてもらいたいと思います。私の町内会は、第一次地区、第二次地区、和泉町として残る地区の3つに分かれます。特に気にしているのが、和泉町として残る地域で、第一次地区は町名に「下和泉」という、「和泉」が用いられたことによって、そう疎外感はなかったのだと思います。このことは、第二次地区にも当てはまりますので、できれば「和泉」を用いてほしいと思います。

【会長】今出ている町名候補を確認しますが、「中和泉」は先ほどの理由から採用を控えさせていただきますので、「和泉が丘」と「南和泉」かなというところです。「南和泉」は「和泉南」としてもいいのかもしれませんが。

【委員】そのことについては、連合内での検討で、「和泉」を尊重した名称にするために、「南和泉」とするか「和泉南」とするか議論がありました。その際、和泉町という町名を今後も使う地域があるので、南を前に持ってきた方が分かりやすいとの理由から、「南和泉」としました。

【会長】それでは、アンケートには一つ目に「和泉が丘」、二つ目に「南和泉」、三つ目に自由記入の「新しい町名」ということでよろしいですか。他に町名案はありますか。

【委員】すみません、アンケートに載せる町名候補の順番について提案があります。実は我々の連合内には、第二次地区と第三次地区にまたがる町内会があります。第三次地区に回った人達からすると、実施が一年遅れることには納得できても、町名が第二次地区と第三次地区とでかけ離れた名称となった場合、疎外感が高まると思います。ですから、第二次地区の町名は、第三次地区の町名と関連性を持たせた町名にさせていただけたらと思います。例えば、第三次地区に東をつけるなど。

【会長】おそらく「中央」が入ってくると思いますが。

【委員】「中央」があるなら、第二次地区の町名に「南」がついてもおかしくはありません。第二次地区での「いずみがおか」への親しみは強いので、公平性という観点から、「南和泉」を先に載せていただきたいと思います。

【委員】今、アンケートに載せる町名候補は「南和泉」と「和泉が丘」の二つということですが、「いずみがおか」の表記は先ほど他の委員からも御意見がありましたように、第二次地区内での「泉が丘」への親しみは相当なものだと思います。ですから、「泉が丘」も町名候補として載せた方がいいのではないかと気がします。

【委員】すみません、先ほどそのように発言しましたが、少し考えが変わりました。確かに我々が一番目にしているのは「泉が丘」なので、馴染みがあって良いと思ったのですが、色々な御意見を聞いていて思ったのは、外からの人からしてみれば、区名は「泉」、町名は「和泉」として統一されていた方が分かりやすいのではないかと。

【会長】それでは、町名アンケートに載せる順番は、一つ目に「南和泉」、二つ目に「和泉が丘」、三つめに自由記入の「新しい町名」とすれば、皆さんの意見は集約できますでしょうか。

【委員】やはり、その地区のことだけ考えるのではなく、和泉町全体として町名を検討した方がいいと思います。

【委員】「和泉」は外せないと思います。

【委員】特に長後街道を挟んだ南北の第三次～第六次地区エリアは、どのように分けるかという検討は後にするにしても、全体の統一性は持たせた方がいいと思います。

【会長】第三次・第四次地区となる長後街道南部の地域は、市街化調整区域の取り込みの対象となる地域もないので、エリアとしては一つ、つまり町名は一つでいいのではないかという気がしています。

【委員】名称は一つで、丁目で分けていくということですね。

【会長】はい。そして、「中央和泉」とするのか、「和泉中央」とするのかという議論になる可能性はあります。

【事務局】今回の町名候補について、第一次地区でも「和泉」に「南」をつけるという町名候補がありましたので、第一次地区にお住まいの方の中にもそうした町名を希望された方がいらっしゃいますが、もし第二次地区の町名が「南和泉」となった場合、地域同士で摩擦は起きませんか。

【会長】逆に、自分たちの意見が活かされたという意味で、そう違和感はないように思います。それでは、話をまとめます。町名は、これで決定というわけではありません。アンケートの自由記入で案がたくさん出てきたら、それも町名候補に含めて検討し、町名を最終決定します。アンケートに載せる町名候補は「南和泉」、「和泉が丘」の二案とし、三つ目に自由記入の「新しい町名」ということで、よろしいですか。続いて事務局からの説明をお願いします。

【事務局】

資料1-1「第二次地区の町名アンケートについて」に沿って説明。

2 アンケートの実施について

- ・実施期間は、平成24年7月17日（火）～平成24年8月17日（金）の1か月間とする。
- ・配付期間は、平成24年7月17日（火）～平成24年7月20日（金）の4日間で、横浜市委託業者が全戸配付する。（約2,200枚）
- ・回答はアンケートチラシ内の返信ハガキのみ有効とし、集計は事務局が主体となって、会長立会いの元行う。
- ・アンケート結果は、検討結果と併せて市のホームページに掲載するほか、チラシの配付、「案の地元説明会」により周知する。

3 町名の検討スケジュール

- ・本日、アンケートに載せる町名候補を決定したため、7月17日（火）～8月17日（金）の1か月間アンケートを実施し、8月下旬に集計を行う。この結果を基に、9月に新町名案を決定する。
- ・第二次地区の新町界・新町名について、11月に「案の地元説明会」を開催し、地域にお住まいの方に説明する。

資料1-2がアンケートチラシの見本となります。中面をご覧くださいと、返信ハガキが右上にあります。前回検討委員会で、「3 新しい町名」の自由記入欄を、できるだ

け大きくするよう御要望いただきましたが、いかがでしょうか。

【会長】大丈夫だと思います。

【事務局】それでは、このようなレイアウトで、町名候補は一つ目に「南和泉」、二つ目に「和泉が丘」でよろしいでしょうか。「南和泉」の候補とする理由としては、「南に位置するから」等でしょうか。

【会長】そうですね、「南和泉」は「和泉町の南に位置するから」としてください。「和泉が丘」は、地域で馴染みのある「泉が丘」という名称に、和泉町の「和泉」を尊重するというような形でまとめてください。

(2) 今後の検討スケジュールについて

【事務局】資料2「今後の検討スケジュールについて」を御覧ください。議題の「(3) 次回検討委員会までの周知内容について」も併せて御説明します。第二次地区の検討スケジュールは、7月17日(火)から8月17日(金)まで町名アンケートを実施し、8月下旬に会長立会いの元集計を行います。次回検討委員会は9月に開催予定ですが、事前にアンケート結果を皆様にお示しし、各地域で御検討いただいた上で、次回検討委員会で新町名案を決定したいと思います。また、11月の「案の地元説明会」についても検討します。11月に「案の地元説明会」を行い、12月の第14回検討委員会でその報告を経て、第二次地区の実施案の決定としたいと思います。また、第一次地区と第三次・第四次地区についても平行して進めていくこととなります。まず、第一次地区ですが、横浜市会での議決が得られましたら、8月に「実施の告示」を行います。これにより、新町界及び新町名、住居表示実施日を正式に公表します。また、住所変更等手続きに関する地元説明会を、実施が10月中旬ですので、10月上旬に開催したいと考えています。これに関連して、地元説明会開催のお知らせチラシや、住居表示のしおりセットを9月下旬に全戸配付します。しおりセットは、手続きに関してまとめたしおりと、各戸でポストの横などに貼っていただく住所のプレートが一緒になって配付されます。地元説明会では、手続きに関するより詳細な御説明をさせていただく予定です。日程や会場についてですが、去年の「案の地元説明会」には、地域にお住まいの方の御関心が非常に高く、たくさんの方に御参加いただきましたので、実施前の手続きに関する説明会となると、より多くの方がいらっしゃる事が予想されますので、後日また改めて関係地区の方に御協力いただき、調整したいと思います。そして、10月の中旬に第一次地区の住居表示実施という運びになります。

【会長】今、会場等の調整について説明がありましたけれども、秋は地域の行事がたくさんありますので、関係地区と連絡を密にとって行ってください。回数も複数回多めに開催した方がいいと思います。それと、実施までのスケジュールが、10月上旬に地元説明会を開催して、10月中旬の実施となると、少し厳しいように感じます。しおりセットを9月下旬に配付するのであれば、その時期から開催できないか検討していただきたいと思います。

【委員】我々富士見が丘地区は、2,000世帯ほど対象となっていますので、やはり2・

3回は開催した方がいいと思います。また相談しましょう。

【事務局】そうですね、中央会場を一つつくって、あとは各自治会町内会さんの会場をお貸しいただければと思いますが。

【会長】全ての自治会町内会ごとには言いませんが、集まりやすいところに設定して、また、今回ばかりは案内漏れは許されませんので、そのあたりもよろしくお願いします。

【事務局】はい、きちんと御案内するようにいたします。第一次地区については以上で、次に第三次・第四次地区の御説明をいたします。第二次地区を除いた長後街道南部の地域についてですが、9月の第13回検討委員会から少しずつ検討を開始したいと思います。まずは実施区域やエリア界について検討していきますが、会長からも何度かお話がありましたように、エリアを分けるのか、それとも一つにするのかというところもあるかと思えますし、場合によっては長後街道北部の第五次・第六次地区のことも一緒に検討する必要があるかもしれません。その際、町名がエリアを決める際の重要な判断材料となりますから、地域で御意見を聞いておいていただけると、今後進めやすくなりますので、お願いしたいと思います。

【会長】それでは、次回検討委員会の開催日を決めたいと思います。9月の24日の週では少し遅いですかね。

【事務局】第一次地区のこともありますので。

【会長】そうですね、では10日の週か、17日の週になるかと思いますが、いかがでしょうか。月曜日は予定が入りにくいので、10日にしますか。

【事務局】10日であれば、会場も取れます。

【会長】それでは、次回検討委員会は9月10日（月）とします。本日はこれで終了といたします。どうも御苦労様でした。

資

料

資料1-1 第二次地区の町名アンケートについて

資料1-2 アンケートチラシ案

資料2 今後の検討スケジュールについて